



平成 20 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
 代 表 者 取締役会長兼社長 谷 正明
 本 社 所 在 地 福岡市中央区天神二丁目 13 番 1 号
 (コード番号 8354 東証第一部、大証第一部、福証)
 問 合 せ 先 執行役員経営企画部長 吉田 泰彦
 (TEL.092-723-2502)

平成 20 年 3 月期末の連結有価証券評価損の修正及び
 平成 20 年 3 月期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 4 月 7 日に発表いたしました「平成 20 年 3 月期末の有価証券評価損に関するお知らせ」及び「平成 20 年 3 月期の「業績予想の修正」及び「配当予想の修正」に関するお知らせ」のうち、当社連結の「有価証券評価損」及び「業績予想」について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

当社連結の有価証券評価損については、前回公表時に用いた算出方法が、有価証券の連結会計上の簿価を企業結合会計（パーチェス法）に基づき認識した場合の算出方法と相違することが判明したため、あらためて評価損益を算出した結果、減損処理による有価証券評価損の総額が 218 億円から 301 億円に増加することとなりました。

上記有価証券評価損の増加を主因として、当社連結業績予想については、経常利益の予想額を 325 億円から 258 億円に、当期純利益の予想額を 25 億円から 12 億円に修正いたします。

なお、当社単体の「業績予想」並びに当社子銀行 3 行の「有価証券評価損」についての変動はございません。

記

1. 平成 20 年 3 月期末の連結有価証券評価損の修正

(1) 当社連結の有価証券評価損の総額

(A) 平成 20 年 3 月期末の有価証券評価損の総額	
前回発表(ア)	21,800 百万円
今回修正(イ)	30,175 百万円
増減額(イ) - (ア)	8,375 百万円
(B) 平成 19 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	502,506 百万円 (6.0%)
(C) 平成 19 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	57,621 百万円 (52.3%)
(D) 平成 19 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	33,858 百万円 (89.1%)

(注) 当社は設立初年度のため、(B)～(D)の額は株式会社福岡銀行連結の額を記載しております。

(2) 修正の理由

当社連結決算における有価証券評価損につきましては、平成20年4月7日の前回公表時には、子銀行において減損処理の対象とされた有価証券を対象として算出しておりました。

しかし、平成20年3月期の決算作業を進めるなかで、熊本ファミリー銀行及び親和銀行が保有する有価証券について、減損処理すべき有価証券の抽出方法が、有価証券の連結会計上の簿価を企業結合会計（パーチェス法）に基づき認識した場合の抽出方法と相違することが判明しました。

あらためて平成20年3月期末の評価損益を算出した結果、両行統合以降の株式相場がおしなべて大きく下落したことを受け、当社連結会計上の有価証券の減損処理額は、前回発表時の218億円から301億円と83億円増加することとなりました。

本修正により、当社連結決算及び子銀行決算ともに、「その他有価証券」で時価があるもののうち、期末日の時価が各々の取得原価（簿価）に比べ30%以上下落している銘柄については、全て減損処理を実施することになります。

2. 平成20年3月期通期連結業績予想の修正

(1) 平成20年3月通期（平成19年4月2日～平成20年3月31日）連結業績予想

（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	276,500	32,500	2,500
今回修正予想 (B)	277,800	25,850	1,250
増減額 (B) - (A)	1,300	6,650	1,250
増減率 (%)	0.5	20.5	50.0

（注）当社は設立初年度のため、前年実績はございません。

(2) 業績予想の修正理由

当社連結業績予想の前回発表との相違点は次のとおりです。

経常収益の増加は、子銀行の経常収益の増加等によるものです。

経常利益の減少は、当社連結会計上の有価証券の減損処理額の増加（83億円）及び子銀行の経常利益の増加（+16億円）等によるものです。

当期純利益の減少は、上記減損処理額の増加（83億円）及びこれに伴う税効果会計の影響等（+37億円）、子銀行の当期純利益の増加（+34億円）等によるものです。

なお、当社単体の業績予想につきましては変更ございません。また、当社連結会計上の有価証券の減損処理等により生じた損益差異は連結会計上の処理であるため、当社の分配可能額への影響はございません。

従って、平成20年3月期の1株当たりの配当予想（普通株式：年間7円）につきましても変更ございません。

3. <ご参考> 子銀行の業績予想

(1) 福岡銀行

ア.【単体】		(単位：百万円)	
	前回発表予想(A)	今回修正予想(B)	増減額(B) - (A)
経常収益	211,500	212,700	1,200
経常利益	29,400	29,700	300
当期純利益	15,400	17,400	2,000
コア業務純益	58,100	58,500	400
信用コスト	9,200	9,300	100

イ.【連結】		(単位：百万円)	
	前回発表予想(A)	今回修正予想(B)	増減額(B) - (A)
経常収益	216,700	218,100	1,400
経常利益	31,800	32,900	1,100
当期純利益	15,500	17,900	2,400

福岡銀行単体・連結の業績増減の要因

経常収益並びに経常利益については、前回発表(平成20年4月7日)から決算作業を進めるなかで生じた差異です。

当期純利益については、経常利益の増加に加え、有価証券の減損処理にかかる繰延税金資産が増加したことによるものです。

(2) 熊本ファミリー銀行

ア.【単体】		(単位：百万円)	
	前回発表予想(A)	今回修正予想(B)	増減額(B) - (A)
経常収益	35,100	35,100	0
経常利益	9,700	9,900	200
当期純利益	15,700	15,600	100
コア業務純益	8,200	8,200	0
信用コスト	13,600	13,900	300

イ.【連結】		(単位：百万円)	
	前回発表予想(A)	今回修正予想(B)	増減額(B) - (A)
経常収益	35,100	34,900	200
経常利益	9,900	9,900	0
当期純利益	15,900	15,700	200

熊本ファミリー銀行単体・連結の業績増減の要因

前回発表から決算作業を進めるなかで生じた差異です。

(3) 親和銀行

ア.【単体】 (単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)		増減額 (B) - (A)
		平成 19 年度	平成 19 年度 うち下期	
経常収益	55,400	55,100	28,200	300
経常利益	97,000	96,500	4,300	500
当期純利益	102,900	102,400	1,900	500
コア業務純益	12,300	12,800	6,700	500
信用コスト	96,800	96,800	2,700	0

イ.【連結】 (単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)		増減額 (B) - (A)
		平成 19 年度	平成 19 年度 うち下期	
経常収益	56,400	56,200	28,900	200
経常利益	95,600	95,100	3,500	500
当期純利益	102,500	101,700	1,400	800

(注) 当社の連結業績においては、親和銀行の下期損益のみが反映され、中間期までの損益は反映されません。

親和銀行単体・連結の業績増減の要因

前回発表から決算作業を進めるなかで生じた差異です。

〔 本資料の業績予想は、平成 20 年 5 月 2 日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、これらの予想値と異なる可能性があります。 〕

以上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。
ふくおかフィナンシャルグループ
経営企画部 財務 G
電話 092-723-2502